



光が丘

大津市立晴嵐小学校 学校だより冬休み号

在籍児童 875名 令和6年12月23日

学校教育目標

求めて学ぶ子

～ふるさと晴嵐に愛着と誇りを～

冬休みが始まります…充実した年末年始を！



防犯教室（1・3・5年生）

今日で2学期が終わりました。この2学期は、様々な学習活動や行事を経験し、子どもたちは大きく成長したと感じています。校外に出かけたり、ゲストティーチャーを招いたりして、本物に触れる機会を可能な限り設定し、五感を通して学べるよう努めてきました。

今後も、子どもたちの知的好奇心を高め、友達と学び合う楽しさなどを味わうことにより、学ぶ喜びが実感できるような手立てを講じてまいります。

さて、インフルエンザの流行に伴い、いくつかのクラスで学級閉鎖を行うなど、学期終わりに急な対応を迫られました。冬休みに入っても、ご家族の健康管理には十分

ご留意いただき、よいお年をお迎えください。

今年も本校教育にご理解・ご協力をいただいた保護者の皆様や地域の方々に改めてお礼申し上げますとともに、来年も引き続きよろしくお願いいたします。

コラム「教室の風景」

⑤

今日の終業式で、私からは、南米アンデス地方に伝わる「ハチドリのはつとずく」を引用して、話をしました。

あるとき森が燃えていました

森の生き物たちは我れ先にと逃げていきました

でもクリキンディという名前のハチドリだけは行ったり来たり

くちばしで水のはつとずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます

動物たちはそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」と言って笑います

クリキンディはこう答えました

「私は私にできることをしているの」

さあ、自分を振り返ってみましょう。今年のあなたは、このクリキンディのように行動できていましたか。それとも他の動物たちのように考えていたでしょうか。校長先生も「クリキンディを見習わなければならない」と思っています。一人の力ではどうにもならないと思えるような問題でも、私たちにはできることがある。例えば、通学路にゴミが落ちている。それを1つ拾ってもゴミはなくなる。でも、晴嵐小の875人が1つずつ拾ったら、875個のゴミが消えるんですよ。

あなたのがんばっている姿を見たら、「じゃあ、私も僕も…」と協力してくれる人、応援してくれる人が必ず現れます。そして、大きな問題も解決することができるのです。みんなが『自分にできることをやってみる』という気持ちを持てば、実はすごいことが起こせるかも知れない。皆さんには、そんな可能性があるんですよ。

あなたは2025年、何をやってみますか。是非、前向きに考えてみてください。

【校長 富永】

